

## 下 詰め替えの前に必ずお読みください

本書に記載されていること以外は行わないでください。印刷不良や思わぬ事故の原因となる場合があります。

### 1 詰め替えのポイント

インクの詰め替えは、インクカートリッジの残量検知用窓の中にあるインクタンクに直接穴を開けて注入口を作り、インクを注入して、注入口をプラグで閉じて使用するものです。付属のポケットドリルなどの専用工具や専用部品を使って、詰め替え手順・説明に従って正しく詰め替えてお使いください。



### 2 つめ替えのタイミング

- インクの詰め替えは「まもなくインク切れ／インク切れ」の表示が出たときに詰め替えてください。他の表示「まもなくインク切れ／インク切れ」の表示が出ていたりカートリッジがあつたら同時に詰め替えてください。
- 「まもなくインク切れ／インク切れ」の表示が出る前に詰め替えを行うと、インクの注入量が変わり、インクがあふれたり漏れたりすることがあります。

#### 準備

- 詰め替えの時にインクがこぼれて、周辺が汚れることがあります。あらかじめ新聞紙またはペーパータオルなどを用意し、そのまま作業を行ってください。
- また、着衣にインクがかかるないように付属の手袋をつけ、エプロンなどを着用して汚れを防止してください。



#### 確認

- 長期間プリンタを使っていない場合は、必ず印刷できるか確認してください。また、取り外して放置されたカートリッジは、インクが正常に出て、印刷できるか確認してください。正常でないカートリッジを詰め替えて印字不良となります。

#### 3 つめかえ回数

- つめ替えによるカートリッジの再使用は3~4回までが適当です。それ以上の詰め替えはインク供給に不具合を生じ、正常な印字ができない場合があります。

#### 4 つめかえ後のクリーニング

- クリーニングの繰り返しはインクが消費されます。3回までのクリーニングで正常にプリントされる場合はクリーニングを中止して、トラブルシューティングを参照してください。

## 下 詰め替え手順

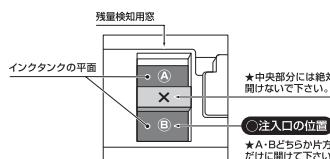
### 1 カートリッジにインク注入口を開ける

- ペーパータオルなどの上にプリンタから取り外したインクカートリッジを起きます。残量検知用窓が向きになるようにします。



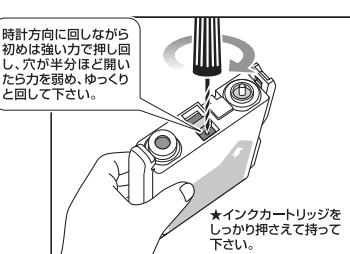
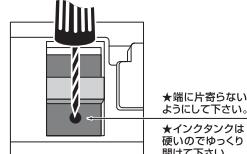
#### 1 注入口を開ける位置を決める

- 残量検知用窓の中にはインクタンクの平らな面が奥の両側にあります。この面のどちらか片方の真ん中に注入口位置の目安(A)または(B)にして穴を開けます。

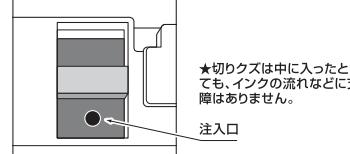


#### 2 注入口を開ける

- 決めた位置にポケットドリル(②)の先端を押しあて、時計方向に回しながら、はじめは強い力をゆっくり押しながら回します。穴が半分程度開いたら、力を弱めてゆっくりと回します。



完全に穴があいたらボケットドリルを回さずにまっすぐ引き抜いて、切りくずを取り除きます。



### 2 インクボトルのゴムキャップを外す

- 手袋(⑥)を着用します。インクボトルのキャップを取り外したり閉めたりする際はノズルの根元をしっかりと押さえながら、垂直方向に動かしてください。



### 3 インクを注入する

- カートリッジを横向きにして、手順①で開けた注入口にインクボトルの先端を1cmほど差し込み、そのままインクボトルが直立になるように起こします。



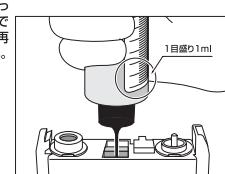
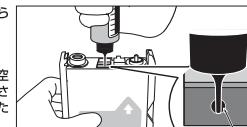
## 下 詰め替え手順

### 3 インクを注入する(続き)

- ボトルをゆっくりと絞りながらインクを注入します。

★注入中は注入口とノズルの間に空気逃げの隙間を必ず開けてください。隙間がないとインクがあふれたりこぼれたりする場合があります。

★注入中に注入口から泡が立つたりインクが溢れたりした場合はいったん注入を止めてティッシュなどで注入口の汚れを拭き取ってから再度インクの注入を行ってください。



#### 4 インク注入量の目安

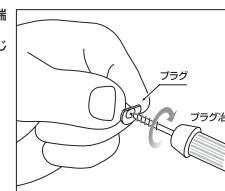
ブラックカートリッジの場合	約 15ml
カラーカートリッジの場合	約 7ml

★上記の注入量は「まもなくインク切れ」や「インク切れ」の表示がされ、ほぼインクが空の状態となった場合の推定量です。

★ラベルの目盛りを目安にインクを注入してください。

### 4 注入口にプラグを差し込む

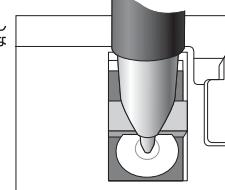
- 付属のプラグ治具(③)の先端にプラグ(④)を付けます。(治具先端をプラグ中心にねじ込みます)



- 注入口にプラグを差し込みます。★差し込み後にプラグ治具を取るときは、少し反時計方向に回しながら抜き取ります。



- 最後にボールペンなどの先でしっかりと押しこみ、インクがもれないようにします。



### 5 カートリッジの動作確認

カートリッジをプリンタ本体に取付けた後の操作パネルの液晶ディスプレイに、確認メッセージ(イラスト)が表示された場合は、「はい」を選択します。

★「はい」を選択しなかった場合、残量データがリセットされず、インクエンドの残量を正しく把握できなくなります。

#### 6 インクを交換しましたか

- はい → + を押してください
- いいえ → - を押してください

※イラストはブラザー DCP-330C の液晶画面です。

### 6 クリーニングと印字テスト

カートリッジをプリンタに取付け、最初にクリーニングを行います。3回までのクリーニングで正常にプリントされない場合はクリーニングを中止し、トラブルシューティングを参照してください。

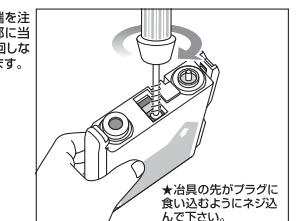
### 7 2回目以降の詰め替え

- 付属のプラグ治具を使って注入口のプラグを抜き取り、②～⑤の手順で詰め替えます。

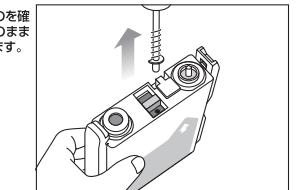
△ 注意  
プラグは使い捨てですので、詰め替えごとに新しいプラグに交換してください。

#### 8 プラグの抜き取り方

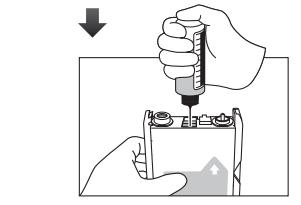
- プラグ治具(③)の先端を注入口のプラグの中央部に当てる、時計回りの方向に回しながらプラグにねじ込みます。



- プラグに差し込まれたのを確認したら、回さずにそのまままっすぐに引き抜きます。



#### 9 手順②以降へ



#### 10 詰め替え回数

詰め替えインクによるカートリッジの再使用は、3～4回までが適当です。それ以上の詰め替えは、インク供給に不具合を生じることがあります。その際は新しいカートリッジをお買い求めください。

## トラブルシューティング Q&A

- クリーニングの繰り返しは詰め替えたインクや他のインクの消費を早め、通常動作に戻るまで時間がかかってしまいますので、下記トラブルシューティングをご参照してください。
- 以下の状態のインクカートリッジで詰め替えをした場合はサポート対象外となりますので、お確かめの上お使いください。  
純正新品使用後のカートリッジ以外のカートリッジには対応しておりません。(再生品カートリッジ、互換品カートリッジ、他社詰め替えインクと併用など)  
詰め替え回数が取扱説明書に記載の推奨限度回数を超えて不具合となったカートリッジ。  
他社の詰め替えインクや道具を使用した後のカートリッジ。  
インクがなくなつて長い間放置(使用しない)されていて、詰め替え不能なカートリッジ。

症 状		確認事項	処 置
詰め替え 作業中	注入中に注入口からインクがあふれ出でる。	入れ方が強すぎませんでしたか。 インクの入れ過ぎの可能性があります。	インクの注入は静かにゆっくりと行ってください。強くて急な注入は勢いで注入口からあふれ出て来やすくなります。インクの注入量は(手順③)を参考して、標準量を参考にして終了してください。入れ過ぎはインク供給にも影響があり、印字不良にならくなります。
	注入中にカートリッジのインク供給口からインクが漏れてくる	注入口をふさいでいませんか。	ノズルを差しみすぎで注入口をふさいだ状態では、インクが入った分の空気が抜けないためノズルから漏れできます。注入中は注入口とノズルの間のすき間をとってください。(手順③参照)
印刷の時	印刷ができない、またはかすれやスジが入る。 (※1)	長期間使用していない。 または、外してあったカートリッジではありませんか。	長期間使用していないカートリッジはインクが流れないで、印刷しない可能性があります。詰め替える前に必ず印字できるか確認してください。
	他社のインクと併用していませんか。	純正互換インクなので、併用した場合インクのかすれや出なくなるおそれがあります。	
	詰め替え回数を確認してください。	詰め替え回数が多くなると(3~4回までが目安)インクの流れに支障が生じ、印字の状態が悪くなりやすくなります。新しいカートリッジへの交換をお勧めします。	

(※1) 改善しないままクリーニングを繰り返すことはしないでください。詰め替えたインクや他のインクの消費を早め、通常動作に戻るまで時間がかかってしまいます。



## つめかえインク取扱説明書

INK-LC10シリーズ共通

ご使用前に  
必ずお読みください。



- インクカートリッジの種類により適応するインクが異なります。対応カートリッジをご確認の上お使いください。
- 同色のインクカートリッジを使用する場合は必ず印などをつけて判別できるようにしてください。
- インクは身体及び衣服等に付着するとすぐに消えません。取扱いにご注意ください。
- ご使用の前に注意事項を必ずお読みください。
- 同シリーズ以外の詰め替えインクを使用したカートリッジには対応していません。

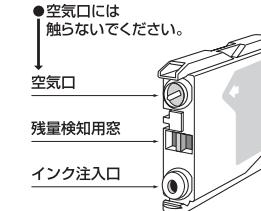
### セット内容 (数量はパッケージをご覧ください)

このパッケージの中には以下のものが含まれています。  
もし、不足しているものや、損傷などがありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。※インクのみのセットにはポケットドリル、プラグ治具は含まれてありません。



### 各部の名称

#### インクカートリッジ



### 対応カートリッジ

ブラザー LC10BK、  
LC10C、LC10M、LC10Y

### 対応プリンタ

MYMIOシリーズ  
MFC-880CDN / 880CDWN / 870CDN / 870CDWN  
860CDN / 850CDN / 850CDWN / 650CD  
650CDW / 630CD / 630CDW / 480CN / 460CN  
DCP-750CN / 350C / 330C / 155C

### 安全上の注意 △

次の注意事項は、詰め替える時の書や損傷を未然に防ぎ、詰め替えインクセットを正しく安全にお使い頂くためのものです。

- 詰め替えは新聞紙などを敷いて、その上で行ってください。
- 詰め替える時にインクがこぼれ、周辺が汚れることがあります。ティッシュペーパーもしくはベータオルなどをあらかじめご用意ください。
- 本製品のインクは身体や衣類に付着するとすぐに消えません。ご使用に関しては注入する時は、不用意にインクボトルを強く握ったり、逆さまに持たないようにしてください。インクボトルのノズルの先からインクが飛び出したり、こぼれ落ちて身体や衣類に付着しないように注意してください。
- ポケットドリル・プラグ治具は金属製です。使用の際はご使用者本人及び周囲とのケガ、事故など身体の安全に注意してください。使用後はパッケージ(箱)に入れ、小児・幼児の手の届かないところで保管してください。また、インクの詰め替え専用にご使用いただけたための治具であり本用途以外の目的にはお使いにならないでください。

### 注意 △

- 子供の手の届く所に置かないでください。
- 飲むことはできません。誤って飲んでしまった場合には、医者の診断を受けてください。
- 目に入ってしまった場合には、すぐに水で洗い流し、専門医の診断を受けてください。
- カートリッジをプリンタから取り外したり、取付けたりする時には、プリンタの取扱説明書の指示に従ってください。
- インクは開封後1年以内にご使用ください。

### 保管

詰め替えた後の残ったインクは、ゴムキャップをしっかりと、直射日光の当たるところ及び、高温多湿の場所は避け、涼しい所で保管してください。インクの漏れを防ぐために容器は立てて保管してください。

●本製品のカラーアイントンは当社オリジナルインクを使用しています。

- 本製品はブラザー工業(株)とは無関係で承認を受けたものではありません。
- 商品仕様や諸般の事情により予告なく変更することもありますので、あらかじめご了承ください。
- 記載されている会社名・商品名は、一般には各社の商標または登録商標です。
- 万一千台の製品上の原因による品質不良がありました場合には、同数の新しい製品と取り替えいたします。それ以外の責任はご容赦願います。
- 改良のため予告なく外観、仕様を変更する場合があります。